

令和3年度

学校関係者評価報告書

岡山自動車大学校

令和4年 10月 20日

岡山自動車大学校
校長 原田公徳 殿

学校関係者評価委員会
委員長 山本 茂

学校関係者評価報告書

令和3年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1 学校関係者評価委員

- 山本 茂 (学校法人第一原田学園 評議員)
藪木 隆宏 (一般社団法人 岡山県自動車整備振興会 事業部 課長)
片山 貴志 (岡山トヨタ自動車株式会社 人事グループ マネージャー)
太田 賢志 (岡山トヨタ自動車株式会社 人事グループ 採用担当)
松岡 正志 (岡山ダイハツ販売株式会社 人事部)
水野 正和 (岡山ダイハツ販売株式会社 人事部 課長)

2 学校関係者評価委員会の開催状況

第1回委員会 令和4年9月30日(会場 岡山自動車大学校 会議室)

3 令和3年度学校関係者評価報告

学校関係者評価委員からの主な意見

(1)教育理念・目的・人材育成像

教育理念、教育目標、人材育成像など分かりやすく定められており、適切である。
令和3年度より学校開放デーの期間を1週間設けたことの報告。

(2)学校運営

組織運営については問題ないと思われる。
アメリカ研修旅行が費用的に難しいのであれば、行き先を変えてみるのはいかがでしょうかの意見あり。

(3)教育活動

新しく入った先生は研究授業を行っていることの報告。

(4)教育成果

二級は21年連続100%合格を達成できたことの報告。
令和3年度の退学者数は2名であったことの報告。

(5)学生支援

評価は適正で特に問題ないと思われる。

(6)教育環境

災害時の防災対策は何か行っているかとの意見あり。

(7)学生の受入れ募集

留学生の受け入れに関しては今後も予定していないが、検討事項ではある。

(8)財務

評価は適正で特に問題ないと思われる。

(9)法令等の遵守

特に提言なし。

(10)社会貢献・地域貢献

特に提言なし。

総括

評価は変更ないが、全体としては特に問題はなく、適切に評価されている。
もっと評価が高くてよい項目もある。

今後も継続して適切な学校運営をしていただきたい。

学校関係者評価委員会からの意見をうけて学校の今後の取組み・改善

(1)教育理念・目的・人材育成像

コロナの影響で学校行事が相次いで中止となり今後の教育活動のあり方を根本的に考える必要がある。

(2)学校運営

コロナが終息してもアメリカ研修旅行は費用的に難しいので、学生が惹かれることを今後も検討していきたい。

(3)教育活動

今後も教科教育の指導力の向上、および教員のスキルアップを図っていきたい。
また全国自動車大学校・整備専門学校主催の教員研修にも適宜参加していきたい。

(4)教育成果

就職においては関連業界への就職100%がキープできているので今後もキープし続けていきたい。

(5)学生支援

学生の年齢に合わせた指導ができるように今後も意識していきたい。

(6)教育環境

現在の学生の在籍状況を考えると、国交省の基準は満たしているが、学生からすると手狭に感じるかもしれないので実習場の整備をしていきたい。

(7)学生の受入れ募集

留学生の受け入れに関しては今後も予定はしていないが、検討事項ではある。

(8)財務

評価項目を確認し、特に提言なし。

(9)法令等の遵守

評価項目を確認し、特に提言なし。

(10)社会貢献・地域貢献
特に提言なし。

総括

学校関係者委員からの評価は良好であり、本校の自己評価は適切であると考えられる。

今回の委員会では前回の委員会と比較し、提言等は少なかった。そういった中で委員から出された意見に関しては教職員一同真摯に受け止め、対応・改善していきたい。

委員の意見・提言がより出しやすいように評価項目自体も今後も常に見直していきたい。